クイックリファレンスガイド

広帯域受信機 **BC160J-WED**

このクイックリファレンスガイドは、本製品を 使い始めるために必要な最低限必要な知識や 操作をまとめたものです。

途中から読み始めると、正しく操作できない事が あります。始めから最後まで読みながら操作をし てください。

公式 HP に公開されている取扱説明書も必ず お読みください。このクイックリファレンスガイド には載っていない全機能が解説されています。



Uniden[®]

最新の商品情報やサポート情報はホームページにてご覧いただけます。 https://unidenholdings.jp/product/product_jp/

アドバイザー及び周波数情報提供: ラジオライフ編集部

ご注意

ここに掲載されている注意事項は、クイックリファレンスガイドを読んで本機 を使用し始める際に必要と思われる重要な注意事項を抜粋したものです。全て の注意事項は取扱説明書に記載されています。必ず取扱説明書の注意事項を お読みください。取扱説明書をお読みにならないで発生した事故やトラブルは、 責任を負いかねます。

企 警告

があります。

- 受信した内容を他人に漏らすことは電波法で禁止されています。
- 使用温度範囲を超えた温度となる場所では使用しないでください。故障の 原因となることがあります。
- 直射日光の当たる場所やヒーター、クーラーの吹き出し口付近など、温度変化の著しい場所に置いたり設置しないでください。ケースや部品が変形、変色したり、火災、故障の原因になることがあります。
- 強い磁界や静電気の発生する場所では使用しないでください。故障の原因 になることがあります。
- 引火性ガスの発生する場所では絶対に使用しないでください。引火や火災、 爆発の原因になります。
- ・製品を分解・改造したり、ご自分で修理したりしないでください。火災、感電などの事故、または故障の原因になります。
- 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常が発生した場合は、すぐに使用 を中止してください。そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因になります。異常が認められた場合はすぐに電源を切り、お買い上げの販売店、ま たは弊社お客様センターにご連絡ください。
- ・ 指定以外の電池を使用しないでください。火災、感電、故障の原因になり
- 落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。けが、故障の原因にな ることがあります。
- ・コネクターや端子部に金属片やゴミが付着したまま使用しないでください。 ショートして発火の原因になることがあります。
- 乳幼児の手の届かない場所で使用してください。感電やけがの原因になりま アンテナやストラップを持って本製品を振り回したり、投げたりしないでくだ
- さい。身体に当たってけがをしたり、製品の故障や破損の原因になります。 • 針金などの導電物を差し込まないでください。感電や故障の原因になること
- ・ 自動車運転時に本製品を操作したり、表示部を見続ける行為をしないでくだ

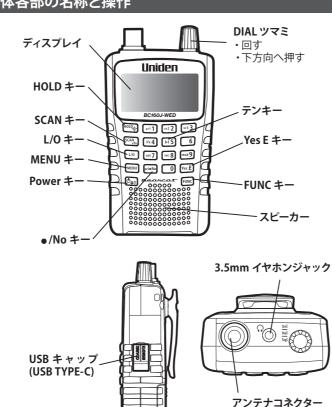
- 水等の液体のかかるところ、結露、ほこり、油煙の多いところに置かないでください。発煙や発火、故障の原因となります。
- ぐらついた台の上や傾いたところ、振動の大きいところなど、不安定な場所に置いたり設置しないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因にな ることがあります。
- お手入れの際は、シンナーやベンジンなどを使用しないでください。変質・変色の原因になることがあります。お手入れは乾いたやわらかい布で行ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤を少し含ませ拭いてく
- アンテナを強く折り曲げたりしないでください。変形や破損の原因になるこ とがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、必ず電池を本体からはずしてください。電池が液漏れするなどして、故障の原因となります。

付属品

で使用前に付属品がすべて揃っていることを確認してください。 不足しているものがあればすぐに購入元にご相談ください。

●本機 ●ニッケル水素充電池 ●ストラップ ●ベルトクリップ ●クイックリファレンスガイド

本体各部の名称と操作



ノブ/キー	操作	説明
DIAL	回す	選択
	押す	音量調節
	[FUNC]+ 押す	スケルチ調節
テンキー		1 ~ 9,0
·/No]	「.」小数点入力 /No に確定
Yes E]	Yes に確定
FUNC	押す	キーの橙色表示機能選択
L/O	1	不要な信号を一時的にロックアウト(スキップ)
(Lock Out)		操作のキャンセル
MENU]	メニュー画面がディスプレイに表示
HOLD -¢-	押す [FUNC]+ 押す [FUNC]+ 長押し	スキャンまたはサーチを停止 (ホールド) クロースコール (DND / PRI / OFF) 切り替え クロースコールオンリーモードに切り替え
SCAN/vfo	押す [FUNC] + 押す	ホールド中にキーを押すとスキャン開始する VFO サーチ開始
Power ♂/ & /☆	押す 長押し [FUNC]+ 押す	バックライト 電源 ON/OFF キーロック ON/OFF

※その他の [FUNC] との組み合わせ操作については取扱説明書をご覧ください。

■キーと DIAL 操作方法

キー操作は「押す」「1 秒以内に 2 回押す」「長押し」[FUNC]+ キーの 4 種類が あります。

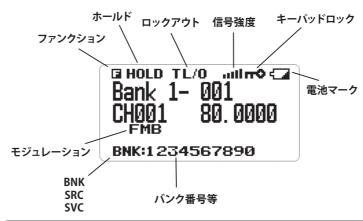
「押す」と記載されている場合はキーを押してすぐ指を放します。 「長く押す」と違う機能が動作します。

「1 秒以内に 2 回押す」と記載されている場合は 2 回連打してください。 時間をおいて2回押すと違う機能が動作します。

[FUNC]+ キー (DIAL) と記載されている場合は、はじめに [FUNC] を押して、 ファンクションモードにしてからキー (DIAL) を入力します。

ファンクションモードでは、橙色に記載されているキー (DIAL) 操作が可能です。 ファンクションモード中は、画面左上に F が表示されます。 ファンクションモードは一定時間経過すると解除されます

■ディスプレイ(画面)の説明



■アンテナの接続

右図のようにアンテナ側の溝とコネクタ側のピンを 合わせ、時計方向に回してピンをはめ込みロック します。

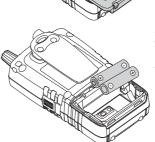
注意:アンテナを取り付けないと受信できません。 外部アンテナを接続する場合、 BNC-P(プラグ)をご使用ください

■電池の入れ方

- 1. 左図を参照に電池フタを矢印方向に スライドし外します。
- 2. 付属の充電池2本を入れます。
- 電池フタを「カチッ」と音がするまで スライドして押し込み取り付けます。

アドバイス:付属の充電池(ニッケル水素電池) 以外に、市販のアルカリ(単3形) 乾電池を 使用することができます。

※リチウム乾電池、リチウムイオン充電池は 使用できません。



■充電池の充電

付属の充電池は、出荷時の状態では十分な充電がされていませんので、 ご使用の前に必ず充電してください。

- ※充電時間は約14時間です。
- 1. 本機の電源を OFF にし、右側面の USB キャップを開けて市販の USB ケー ブルの Type-C 側を接続します。
- 2. USB ケーブルを市販の USB アダプター等に接続します。
- 3. 画面に「Battery Charge Start Charging Yes="E" No="." が表示されます。 付属の充電式電池を使用する場合は [Yes E] キーを押してください。No を選択すると「Charge Off」と表示され充電しません。
- 4. 充電中は「NormalCharging」と表示されます。必ず確認してください。 表示されていない場合は充電されていません。
- 5. 充電が完了すると画面に「Charge Complete」と表示されます。
- ※付属充電池以外の乾電池などを入れている場合は絶対に [Yes E] を押して 充電しないでください。

アドバイス:

- 電池残量が少なくなると画面の右上に[] アイコンが表示されますので、充電してください。電池残量が多い時はアイコンは表示されません。
- ・ 電池が装着されていない状態で USB ケーブル経由で外部給電すると、 「No Battery」と表示されます。
- ・ 充電できないバッテリーを検出した場合、「Battery Error」と表示されます。
- USB の電圧が動作範囲外の場合、「Illegal Voltage」と表示されます。
- ・ 本機の電源が ON の時には充電が行われず、充電タイマーが保持され、
- ・ 本機の電源をOFF にすると、充電が開始され、タイマーがカウントされ

ご注意:

- 付属ニッケル水素充電池以外での動作は保証致しかねます。
- 本体に電池を装着したままだと過放電の恐れがあります。
- ニッケル水素充電池を完全に使い切った状態で長期間放置しないでください。
- ニッケル水素充電池は、充電してから保管してください。また、3 か月に 1回は充電することをおすすめします。

充電式電池はリサイクルへ

この製品は充電式電池が付属しています。

地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、端子部分をテー プで絶縁し、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

充電式電池リサイクル協力店については、 一般社団法人 JBRC のホームページでご確認ください。

JBRC ホームページ URL: http://www.jbrc.com/

■電源の入れ方

左下の[**心**]を長押しする。

■ボリューム (音量) の調整

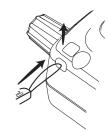
[DIAL] を下へ押し込むと画面に VOLUME LEVEL と横バーで音量が表示されま す。その状態で [DIAL] を回すと音量調整ができます。

■スケルチの調整

[FUNC] を押してファンクションモードにした状態で、[DIAL] を下へ押し込むと 画面に SQUELCH LEVEL と横バーでスケルチレベルが表示されます。 その状態で [DIAL] を回すとスケルチが調整できます。

■ストラップの使用

右図を参考にストラップを付けてください。



はじめに

■スキャンとサーチ

スキャンとは事前にチャンネルへ周波数などの情報を登録しておき、その登録 された順に周波数を切り替え受信する機能です。一方サーチとはチャンネルに 登録されていない周波数を探す機能となっており、サービスサーチ、カスタムサー チ、VFO サーチの3種類があります。また本機の独自機能として強い電波を検 出するクロースコール機能があります。

■チャンネルストレージバンク(バンク)

スキャンに使用するチャンネル(周波数)が保存されている場所を **チャンネルストレージバンク**と呼びます。

バンクは10個あります。このバンクは、1つにつき、100個のチャンネル(周波数) を登録することができます。バンク1はCH001からCH100まで、バンク2は CH101 から CH200 まで、というように続きます。

■周波数を 10 キーから直接入力して受信したい場合

VFO サーチで HOLD した状態が周波数を直接入力することのできる、いわゆ る VFO モード相当となります。 次項の VFO サーチの項目をご参照ください

登録されていない信号を検索(サーチ)

サーチとは、バンクに登録されていない信号を検索する機能です。「VFO サーチ」「サービスサーチ」「カスタムサーチ」の3種類あります。

■サポートされた周波数範囲から検索 (VFO サーチ)

VFO の受信範囲は、25.0000 ~ 512.0000MHz で、この範囲をサーチします。

周波数を直接入力して受信

FM ラジオ 82.5000MHz を受信する場合、以下のようにします。

- 1. [FUNC] を押した後、[SCAN/vfo] を押します。
- **2.** 画面に「VFO Search」その上に「HOLD」と表示されていれば、VFO サーチの HOLD 状態です。
- **3.** 「VFO Search」の表示がされていても「HOLD」の表示がない場合は [HOLD] を押して HOLD 状態にしてください。
- **4.** [テンキー] を使用して周波数を入力します。 今回の場合は、[8][2][./No][5]を押します。(必ず小数点が必要になります)
- 5. [HOLD] を押すと指定した周波数を受信することができます。
- **6.** もう一度 **[HOLD]** を押すと、HOLD 状態が解除され、サーチが開始されます。

アドバイス:

- サーチ中に操作をしたい場合は、一旦 [HOLD] を押して HOLD 状態にしてください。
- 下限周波数から上限周波数へサーチします。
- ・ サーチ中または受信中に [DIAL] を左に回す (下方向)または右に回すと (上方向)サーチ方向を変更できます。
- 周波数を受信中に、[FUNC]+[Scan / vfo] キーを押すか、[DIAL] を回すと、 サーチを再開できます。

■あらかじめ登録された周波数の範囲から検索(サービスサーチ)

本機ではあらかじめエアバンド、海上無線 (国際 VHF) などが登録されています (サービスリスト)。

サービスサーチはこの範囲を使用して信号を検索します。

操作

- 1. [FUNC] を押した後、[svc/8] を押します。サービスリストの一覧が表示されます。
- 2. 一覧の中から検索したいものを選び、[Yes E] もしくは [DIAL] を下へ押し込み選択します。
- **3.** 画面左下に「SVC」と表示されているか確認してください。 表示されていれば、サービスサーチが開始されています。

ご注意:

全ての SVC 番号を OFF にすることはできません。

アドバイス:

- 下限周波数から上限周波数へサーチします。
- ・ サーチ中または受信中に [DIAL] を左に回す (下方向)または右に回すと (上方向)サーチ方向を変更できます。

■範囲を指定して検索(カスタムサーチ)

カスタムサーチとは、周波数の範囲を登録して検索する機能です。

カスタム範囲を登録

- 1. [MENU] キーを押してメニュー画面を開きます。
- 2. 「Search for...」を選び、[Yes E] もしくは [DIAL] を下へ押し込み選択します。
- **3.**「Edit Custom」を選び、**[Yes E]** もしくは **[DIAL]** を下へ押し込み 選択します。
- 4. 編集したいカスタムサーチバンクを選び、[Yes E] もしくは [DIAL] を下へ押し込み選択します。
- **5.** 「Edit Srch Limit」を選び、**[Yes E]** もしくは **[DIAL]** を下へ押し込み選択します。
- **6.** [テンキー] を使って下限周波数を入力し、[Yes E] もしくは [DIAL] を下へ押し込み選択します。
- **7.** [**テンキ**ー] を使って上限周波数を入力し、[**Yes E**] もしくは [**DIAL**] を下へ押し込み選択します。

カスタムサーチを開始する

- 1. [MENU] を押してメニュー画面を開きます。
- 2. 「SEARCH for...」を選択し、**[Yes E]** もしくは **[DIAL]** を下へ押し込み 選択します。
- **3.** 「Custom Search」を選び、**[Yes E]** もしくは **[DIAL]** を下へ押し込み 選択します。
- 4. 画面左下に「SRC」と表示されていれば、カスタムサーチが開始されています。
- 5. サーチ中、[0]~[9]キーで SRC 番号を ON/OFF することができ、 ON にした番号の周波数をサーチします。 サーチ中の番号が点滅します。 番号は、画面下部に表示されます。

ご注意:

全ての SRC 番号を OFF にすることはできません。

アドバイス:

- ・下限周波数から上限周波数へサーチします。
- サーチ中または受信中に [DIAL] を左に回す (下方向) または右に回すと (上方向) サーチ方向を変更できます。

強電波 (≒近い信号源の電波)」が検出できるクロースコール機能

クロースコールは、以下6つのバンドから、それぞれ最も強い「強電波(≒近い信号源の電波)」を瞬時に検出する機能です。

1. 25-54MHz **4.** 137-225MHz

能です。

2. 54-108MHz **5.** 225-320MHz

3. 108-137MHz **6.** 320-512MHz

周波数を登録する必要はなく、周波数がわからなくても、強電波ならば検出可

クロースコールには以下の 4 つの設定があります

- CC OFF(Close Call Off): クロースコール機能をオフする。
- CC DND(Close Call Do Not Disturb): スキャンやサーチ中に、2 秒間隔でクロースコール検出動作を行います。ただし、Home モードで受信中はクロースコール確認をしません。受信中に音切れはしません。
- CC PRI(Close Call Priority):スキャンやサーチ中に、2 秒間隔でクロースコール検出動作を行います。Home モードで受信中もクロースコール確認します。検出動作の為、受信中に音切れはしますが、強電波を逃しません。
- CC Only(Close Call Only Search mode): クロースコールの検出のみを行う 専用モードです。

※ CC DND がデフォルトで有効になっています。

どのバンドを有効にするかは MENU で設定します。詳細は取扱説明書を参照ください。

設定方法

- ファンクションモードの状態で、**[HOLD]** を押すと CC OFF → CC DND → CC PRI → CC OFF → ... と設定を繰り返します。
- ファンクションモードの状態で、[HOLD] を 2 秒押し続けると Close Call Only モードへ遷移します。

登録したチャンネルをスキャン

スキャンは、事前に知っている周波数を登録して順番に信号があるかスキャンする機能です。※登録されたチャンネルが無いとスキャンはできません。

■バンクにチャンネルを登録

チャンネルを登録する方法は複数ありますが、ここではバンクの編集からチャンネルを直接登録する方法をご説明します。

操作

- 1. [MENU] を押してメニュー画面を開きます。
- 「Program Channel」を選び、[Yes E] もしくは [DIAL] を下へ押し込み選択します。
- 3. [DIAL] を回してチャンネルを登録したいバンクを選び、[Yes E] もしくは [DIAL] を下へ押し込み選択します。
- **4.** 「Edit Channel」を選び、**[Yes E]** もしくは **[DIAL]** を下へ押し込み選択します。
- **5.** 編集したいチャンネルを選び、**[Yes E]** もしくは **[DIAL]** を下へ押し込み 選択します。
- **6.** 「Edit Frequency」を選び、**[Yes E]** もしくは **[DIAL]** を下へ押し込み 選択します。
- 7. [テンキー]を使用して周波数を入力します。また、変更位置を 選びたい際は、[DIAL]を回すことで変更位置を変えられます。
- 8. 周波数の入力が完了したら、[Yes E] もしくは [DIAL] を下へ押し込み、変更を確定します。 これでチャンネルの登録が完了しました。

■スキャンを開始する

- 1. スキャンを開始するためには [SCAN] を押します。
- **2.** 画面左下に「BNK」と表示されているか確認してください。 表示されていれば、スキャンが開始されています。
- 3. 「BNK」の右隣にある数字もしくは「一」は、スキャンに使用しているバンクを示しています。
- 4. 次のチャンネルへスキャンをしたい場合は、[DIAL] を回してください。

アドバイス:

- [HOLD] を押すとスキャンを中止され、表示された周波数を受信します。
- スキャンしたいバングを指定することができます。[テンキー]でバンクの ON/OFF を選択することができます。

スキャン/サーチしたくないチャンネル/周波数をスキップするには

■一時ロックアウト (Temporary Locked Out)

受信中に **[L/O]** を 1 回押すと、一時的なロックアウトとなりスキャン / サーチをスキップします。画面には「Temporary L/O」と表示されます。電源を切ると、ロックアウトは解除されます。

■ロックアウト (Locked Out)

[L/O] を 1 秒以内に 2 回押すと、ロックアウト(スキップ) します。画面には「Locked Out」と表示されます。ロックアウト状態を不揮発性メモリに記憶するので電源を切ってもロックアウト状態を維持します。

■(一時)ロックアウトの解除

画面上部に「L/O」もしくは「TL/O」と表示された状態で、[L/O] を押すと (一時)ロックアウトが解除されます。画面には「Unlocked」と表示されます。

すばやくサーチを開始する

カスタマイズ可能なショートカットキーが3つ搭載されています。 [FUNC] + [sr1~3] でサーチを開始することができます。

実行されるサーチを登録する

- 1. [MENU] を押してメニュー画面を開きます。
- 2. 「Search for...」を選び、[Yes E] もしくは [DIAL] を下へ押し込み選択します。
- **3.** 「Set SR1-3 Keys」を選び、**[Yes E]** もしくは **[DIAL]** を下へ押し込み 選択します。
- 4. 変更したいショートカットキーを選び、[Yes E] もしくは [DIAL] を下へ押し込み選択します。
- **5.** 登録したいサーチを選び、[Yes E] もしくは [DIAL] を下へ押し込み 選択します。

すばやく周波数をバンクに登録する

本機は、2種類の便利な保存機能を搭載しています。

■クイックセーブ

クイックセーブは、サーチ機能で信号を受信したときに、指定のバンク・チャンネルへ周波数を保存することができます。

操作

- 1. サーチ機能で信号を受信します。
- 2. [HOLD] を押して、HOLD 状態に設定し、[Yes E] を押します。
- 3. 「Save Frequency?」と表示されたら、[Yes E] を押します。
- 4. 保存先のチャンネルを [DIAL] を回して選びます。
- **5. [Yes E]** を押して保存します。

■ダイレクト入力

ダイレクト入力は、周波数を直接入力して保存する機能です。

操作

- 1. [HOLD] を押して、HOLD 状態にします。
- **2.** [テンキー]で入力したい周波数の1桁目を入力します。
- **3.** 「Direct Entry」と表示され、周波数を入力することができます。
- 4. 変更位置を選びたい際は、[DIAL] を回すことで変更位置を変えられます。
- 5. 「Save Frequency?」と表示されたら、[Yes E] を押します。6. 保存先のチャンネルを [DIAL] を回して選びます。
- **7. [Yes E]** を押して保存します。

その他の便利機能

■PC アプリ Discovery によるロギング (録音)

外部アプリを使うことで、PC によるロギング (録音) やリモートコントロールをすることができます。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

■PC アプリ SS によるメモリ編集・設定

外部アプリを使うことで、ストレージチャンネルバンクやカスタムサーチを編集 することができます。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

初期化方法

初期化をすると、ユーザーが設定した周波数データをはじめとするすべてのデータが削除されます。

初期化する前に事前にメモを残すか、PC アプリ SS でバックアップをすることをおすすめします。

操作

- 1. [MENU] を押してメニュー画面を開きます。
- 2. 「Settings」を選び、[Yes E] もしくは [DIAL] を下へ押し込み、選択します。
- **3.**「Factory Reset」を選び、**[Yes E]** もしくは **[DIAL]** を下へ押し込み、選択します。
- 4. 「OK」選び、[Yes E] もしくは [DIAL] を下へ押し込み、選択します。
- 5. 数秒後、「Preset data?」と表示されます。Yes を選択した場合は、プリセットデータが回復されます。No を選ぶとプリセットは削除されたままの状態です。

おもな仕様

周波数範囲(MHz)	25.0000 ∼ 512.0000MHz
電波型式	AM、NFM、FM、WFM、FMB (FM ラジオ放送)
スキャン スピード	スキャンモードで最大 100 CH/ 秒
アンテナ インピーダンス	50 Ω不平衡 BNC 端子
電源電圧	充電端子 :USB-C 5V ± 5% 電池端子 :2.4 ~ 3V
動作温度 (公称)	- 20 ℃~ + 60 ℃
充電動作温度	+ 10 ℃~ + 40 ℃
外観寸法 (W×D×H)	67 mm × 32.7mm × 115mm (突起物含まず)
重量	180g (アンテナ及び電池、ストラップ含まず) 265g (アンテナ及び付属充電池、ストラップ含む)
低周波出力 (オーディオアンプ出力)	約 0.2W
イヤホンジャック	3.5 Φ (ステレオタイプ) ※音声はステレオでの再生はできません

取扱説明書について

本機のすべての機能を詳細に網羅した取扱説明書もご用意していますので、下記 URL (二次元バーコード) からダウンロードして必ずお読みください。 印刷やコピーした取扱説明書はございません。また販売も行っておりません。



取扱説明書ページ

https://unidenholdings.jp/uniden_jp/support/manualdl.html

ユニデンホールディングスホームページ https://unidenholdings.jp/

国内製品情報

https://unidenholdings.jp/product/product_jp/ サポート情報 https://unidenholdings.jp/product/support/

BC160J-WED クイックリファレンスガイド 発 行 日: 2025 年 9 月第 1 版

ユニデンホールディングス株式会社 〒 103-0022 東京都中央区日本橋室町 2-3-1 https://unidenholdings.jp/

本書に記載されている内容は予告なく変更される 場合があります。あらかじめご了承ください。 本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© Uniden Holdings Corporation U69UB392ZZZ(0)